

平成29年度  
福生市立図書館

基本計画  
点検評価表

第三評価者

福生市図書館協議会

評価項目一覧表(目次)

【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館	自己	第三者	頁
<b>1 市民のニーズに応える蔵書構築を目指します</b>			
1 資料の充実	B	B	3
2 各図書館の機能分担の明確化	B		4
<b>2 各世代の成長過程に配慮したサービスを行います</b>			
1 乳幼児サービスの充実	A	A	5
2 児童サービスの充実	B		5
3 青少年(ヤングアダルト)サービスの充実	A		5
4 高齢者サービスの充実	A		5
<b>3 視聴覚資料の充実を図ります</b>			
1 聴覚資料の充実	A	A	6
2 映像資料の充実	A		6
<b>4 現在の図書館サービスでは十分対応できない人へのサービスの充実を図ります</b>			
1 多文化サービスの充実(1-1-1)で回答	/		7
2 障害者サービスの充実	C	C	7
3 来館が困難な人へのサービスの充実	B		7
<b>5 市民と市民をつなぐ活動を積極的に行います</b>			
1 市民文化活動の拠点	A	A	8
2 読書会や作者との交流会などの開催	A		8
<b>6 西多摩の市町村との連携を継続します</b>			
1 西多摩の図書館との広域利用や昭島市との相互利用の継続	B	B	8
<b>【基本目標2】市民が利用しやすく快適な空間のある図書館</b>			
<b>7 どこに住んでいても図書館サービスを受けられる体制を目指します</b>			
1 図書館から離れた地域への対策や利便性を考えた図書館の配置	B	A	9
2 駅などへのブックポストの設置	A		9
3 福祉バスの停留所を中央図書館付近に設置	-		9
<b>8 より利用しやすく快適な図書館を目指します</b>			
1 読書ができる空間の工夫	-	B	10
2 「読書・学習コーナー」の設置	A		10
3 分かりやすい案内や掲示の推進	B		10
4 中央図書館のエントランスの工夫	A		10
5 利用しやすい開館日時	B		10
<b>9 より安全で安心して利用できる図書館を目指します</b>			
1 震災対策を推進	C	C	11
2 学習室、児童室、トイレなどの安全確保	B		11
3 中央図書館施設の維持管理	A		11
<b>【基本目標3】市民の課題解決に役立つ図書館</b>			
<b>10 暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ図書館を目指します</b>			
1 相談業務(レファレンス・サービス)の充実	C	B	12
2 市民生活で必要とする資料・情報の収集と提供(1-1-1)で回答	/		12
3 起業等の支援	A		12
4 就職、転職、職業能力開発等の資料・情報の収集と提供	A		12

【基本目標3】市民の課題解決に役立つ図書館	自己	第三者	頁
<b>11 情報通信技術を活用し、市民の課題解決に役立つ図書館を目指します</b>			
1 情報通信技術を活用した図書館サービスの充実	A	B	13
2 デジタル資料の充実	A		13
3 商用データベースの活用	A		13
4 インターネット講座の開催	A		13
5 ホームページの充実	B		13
6 パソコン利用環境の確保	A		14
<b>【基本目標4】家庭・地域・学校の教育力の向上を支え、読書の大切さを発信する図書館</b>			
<b>12 図書館は市内の各種機関と協働を進めることで、家庭・地域・学校の教育力の向上を支援します</b>			
1 学校教育への支援を推進	A	A	15
2 学校司書と連携し学校図書館の充実	A		15
3 保育所、幼稚園、学童クラブ、児童館などとの連携	A		15
4 病院との連携	A		16
5 公民館やその利用団体との連携	A		16
6 高齢者施設との連携	C		16
<b>13 図書館は市民との協働を進めることで、家庭・地域の教育力の向上を支援します</b>			
1 おはなしボランティアとの協働を推進	A	A	17
2 おはなしボランティアグループのネットワーク化を推進	A		17
3 視力障害がある人を対象にしたボランティアとの協働を推進(1-4-2)で回答	/		17
4 宅配サービスを推進(1-4-3)で回答	/		17
<b>14 家庭・地域・学校に読書の大切さを発信します</b>			
1 おはなしボランティアグループと協働で読書の大切さを発信	A	A	18
2 読書に関係するグループや事業所などとの連携	A		18
3 学校への広報活動の推進	A		18
4 図書館の利用を広げるための広報活動の推進	C		18
<b>【基本目標5】地域資料の充実を図り、地域文化の継承と創造に寄与する図書館</b>			
<b>15 デジタル資料を含めた地域資料の収集と提供を進めます</b>			
1 福生市に関する資料の収集の徹底(1-1-1)で回答	/	A	19
2 地域に関する資料のデジタル化の推進(3-11-2)で回答	/		19
3 地域資料の調査・研究の相談、支援の充実	A		19
<b>16 行政機関・議会への資料・情報提供を進めます</b>			
1 行政機関サービスの充実	A	A	20
2 議会図書室との連携・協力	A		20
<b>【基本目標6】長期的な視点にたった図書館運営を行い成長する図書館</b>			
1 「福生市人材育成基本方針」に基づく専門的職員の育成	B	A	21
2 職員の内外の研修への参加	A		21
3 図書館運営の自己点検・評価の実施	A		21
4 図書館協議会等による第三者評価の実施	A		21
5 市民への公表	A		21
<b>成果指標</b>			22

【凡例】評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。  
 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。  
 C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。  
C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成29年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)	
<b>【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館</b>										
<b>1 市民ニーズに応える蔵書構築を目指します</b>										
		1 資料の充実	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>多文化コーナーの資料を充実させる。 [指標] 多言語資料の所蔵冊数 [目標値] 前年度比5%増(2,145冊) [参考] 平成28年度 2,043冊</li> <li>分類「民法」「社会福祉」「教育」「医学」「家政学」「スポーツ」「環境」の蔵書を重点的に収集する。 [指標] 指定分野の蔵書の受入冊数 [目標値] 前年度比3%増(2,396冊) [参考] 平成28年度 2,327冊 所蔵冊数 45,141冊 貸出冊数 68,880冊</li> <li>福生市に関する資料を充実させる。 [指標] 福生市に関する資料の総冊数(分館も含む) [目標値] 前年度比5%増(13,027冊) [参考] 平成28年度 12,407冊</li> </ul> <p>※資料には福生に関するパンフレットの綴りも含まれる。また、視聴覚資料は除く。</p>	数値	<p>[多言語資料の所蔵冊数] 2,163冊 120冊の増 【目標達成率】100.8% &lt;図書館コメント&gt; 書店での選書を実施し、目標値を達成した。内容は、英語以外の料理本や小説、絵本、日本語に翻訳されている本を中心に収集した。</p> <p>[指定分野の蔵書の受入冊数] 2,090冊 【目標達成率】87.2% [参考] 所蔵冊数 45,542冊 貸出冊数 65,923冊 &lt;図書館コメント&gt; 目標値を達成することができなかった。</p> <p>[福生市に関する資料の総冊数(分館も含む)] 13,548冊 【目標達成率】104% &lt;図書館コメント&gt; 積極的な受入に努め、目標値を達成することができた。</p>		B	B	<p>「多文化コーナーの資料を充実させる」では、書店での選書が有効であったと考えます。また、英語以外の資料の幅を広げたことを評価します。 「民法」「社会福祉」「教育」等の重点的収集では、目標を達成できませんでした。さらに、貸出冊数も減少しています。ここでの取組結果に「目標値を達成することができなかった。」とありますが、達成できなかった理由を記述することを求めます。 「福生市に関する資料を充実させる」は、目標を達成できています。 (注)英語以外の外国語資料は、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語との回答あり。 (以下次ページ)</p>

# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成29年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
<b>【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館</b>									
<b>1 市民ニーズに応える蔵書構築を目指します</b>									
	2 各図書館の機能分担の明確化	拡充		・わかぎり図書館「セルフケアコーナー」、わかたけ図書館「暮らしのサポートコーナー」の貸出冊数を増加させる。 [指標] 貸出冊数 [目標値] 前年度比5%増(わかぎり図書館 1,339冊 わかたけ図書館 2,168冊) [参考] 平成28年度 わかぎり図書館 1,276冊 わかたけ図書館 2,065冊	数値	[貸出冊数] わかぎり図書館 1,595冊 わかたけ図書館 1,488冊 【目標達成率】87.9% [参考] わかぎり図書館 119.1% わかたけ図書館 68.6% <図書館コメント> わかぎり図書館では当該コーナーの資料の充実を図るとともに、館内掲示、展示、「わかぎり新聞」を用いてPRを行った。わかたけ図書館では新刊購入や一般書架からの配置換えによる暮らしのサポートコーナーの資料の充実を図ったが、目標達成には至らなかった。展示方法やPRについて更に検討を行う。	B	B	わかぎり図書館では、目標を達成していませんが、わかたけ図書館の目標が68.6%に留まっていますので、目標達成へ向けての対策が求められます。  【意見】多文化コーナーの資料がどの程度利用されたのか参考数値として貸出冊数を示してください。福生市在住外国人の人数に合わせて、英語以外の言語の資料構成・提供も必要です。あわせて、コーナーのPRが必要と考えます。 テーマを決めての重点収集では、民法の大改正や2020年度の東京オリンピック・パラリンピックの開催等社会状況の変化に対応した収集を積極的にしていくことを求めます。 各図書館の機能分担の明確化では、目標を達成した「わかぎり方式」に学び、わかたけ図書館とのサービス向上に努めてください。また、セルフケアや暮らしのサポートは、市民生活に不可欠の資料ですので、新刊図書の収集・提供が必要です。

# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成29年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
<b>【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館</b>									
<b>2 各世代の成長過程に配慮したサービスを行います</b>									
		1 乳幼児サービスの充実	新規	・幼児向けおすすめ図書リスト「すてっぷ」の特設コーナーを新設する。 [指標]「すてっぷ」特設コーナーの新設	記述	[[すてっぷ]特設コーナーの新設] 全館で「すてっぷ」の特設コーナーを新設した。コーナーにはおすすめ図書リスト「すてっぷ」を常備し、提供した。	A		<p>「乳幼児サービスの充実」では、「すてっぷ」コーナーを新設し、目標を達成しました。全館で実施したことを評価します。利用する保護者にとっても利便性の向上が図られました。</p> <p>「児童サービスの充実」では、目標を達成することができず、市内小学生の登録率が50%台に留まっていますので、登録率をあげることの検討が求められます。</p> <p>「青少年(ヤングアダルト)サービスの充実」では、新たな事業の実施、いろは新聞のカラー化を評価します。</p> <p>「高齢者サービスの充実」では、目標を大きく上回ることができたことを評価します。</p> <p>【意見】児童の登録率の向上を図るため、1年生に限らず、小学生全体を対象にしたリーフレットを作成し配布するなどの対策を求めます。また、「スタンプカード」の取り組みを通年化するなどの工夫も必要と考えます。</p> <p>いろは新聞をカラー化したことは評価できますが、ゆとりをもった文字組などを工夫し、読みやすい紙面づくりの工夫が必要と考えます。</p> <p>これから地域の高齢化がますます進む状況です。大活字本の需要が多くなることが予想されますので、高齢者サービスへの対応を求めます。</p>
		2 児童サービスの充実	継続	・児童に読書の楽しさを伝える各種イベントを実施し、児童の登録率の向上を図る。 [指標]市内小学生の登録率 [目標値]前年度比3%増(56.5%) [参考]平成28年度 54.9% (登録小学生数 1,312人 全児童数 2,389人)	数値	[市内小学生の登録率] 51.4% 【目標達成率】91.0% [参考] (登録小学生数 1,227人 全児童数 2,386人)  〈図書館コメント〉 各小学校で行う出前おはなし会「ぶっくん」において、新1年生へ利用登録に使えるリーフレット「としょかんだより 1年生」を配布し、周知に努めたが、目標値には届かなかった。	B		
		3 青少年(ヤングアダルト)サービスの充実	新規	・いろは新聞スタッフ(青少年世代)による新たな事業の企画、実施。 ・いろは新聞のカラー化	記述	いろは新聞スタッフの企画・運営により「ビブリオバトル～春の宴～」を古民家(旧ヤマジウ田村家住宅)にて行った。 [開催実績]来場者数:12名  いろは新聞をカラー化した。	A		
		4 高齢者サービスの充実	継続	・大活字本の貸出冊数を増加させる。 [指標]貸出冊数 [目標値]前年度比5%増(1,350冊) [参考]平成28年度 1,286冊	数値	[貸出冊数] 1,799冊 【目標達成率】133.3% 〈図書館コメント〉 目標を達成した。PRとして、うちどくフェスティバルの「図書館員の本棚」で大活字本の展示を行った。	A		

# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。  
C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本 目標	施策	事業	区分	平成29年度事業目標	指標	取組結果	自己 評価	第三者 評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
<b>【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館</b>									
<b>3 視聴覚資料の充実を図ります</b>									
	1 聴覚資料の 充実	新規		<p>・CDの幅広いジャンルの購入。 [指標] 購入割合の低いジャンルについて充実を図る [目標値] 全5分類の資料購入 [参考] 平成28年度 購入数:265点 購入割合: Y9(日本のポップス等)49% Y1~8(海外のポップス、ジャズ等)29% W(児童関係)8% R(クラシック)7% G(音楽以外)4% B(その他の音楽)3%</p>	数値	<p>[購入割合の低いジャンルについて充実を図る] 購入数:306点 購入割合: Y9(日本のポップス等)37% Y1~8(海外のポップス、ジャズ等)26% R(クラシック)14% W(児童関係)11% G(音楽以外)7% B(その他の音楽)5% 〈図書館コメント〉 CD購入会議にて全館の調整を行った。購入割合の高いY1~8・Y9はいずれも購入割合が下がり、少なかつたほかジャンルの購入割合が上がった結果、幅広いジャンルで購入を行うことができた。</p>	A	A	<p>「聴覚資料の充実」では、全館で調整を行った上で、幅広いジャンルから購入したことは評価できます。 「映像資料の充実」では、利用状況を検討し、人気の高いDVDを購入したことは評価できます。</p> <p>【意見】CDでは音楽以外のジャンル(G・4%)を充実することも重要と考えます。また、バランスよく市民要望に応えるため、幅広い収集を行いました。購入分野の変化によって利用状況がどう変化したか、注目したいと考えます。 DVDについては、娯楽作品に限らず、教養、教育、美術、工芸、動物の生態等の幅広い分野から映像資料を収集することが必要と考えます。また、中央図書館とのバランスを検討することを要望します。</p>
	2 映像資料の 充実	新規		<p>・DVDについて、更なる利用者のリクエストの把握に努め、購入時に検討し資料の充実につなげる。</p>	記述	<p>人気の高いDVDを把握するため、年3回過去3か月間の貸出数ランキング・予約数ランキングを確認した。結果は「むさしのだいだより」に新着DVDのお知らせと共に掲載し、周知に努めた。 また、利用者からリクエストのあった未所蔵DVDを5点購入した。</p>	A		

# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 - : 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成29年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
<b>【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館</b>									
<b>4 現在の図書館サービスでは十分対応できない人へのサービスの充実を図ります</b>									
		1 多文化サービスの充実	継続	■基本目標1-1-1で回答(p1)					
		2 障害者サービスの充実	継続	・対面音訳サービスのPR活動の充実を図る。 [指標] 対面音訳サービスの利用件数 [目標値] 5件 [参考] 平成28年度 0件	数値	[対面音訳サービスの利用件数] 0件 【目標達成率】0% 〈図書館コメント〉 ボランティア団体との話し合い、バリアフリー映画上映体験会でのチラシの配布、市内各施設へのポスター掲示、民生児童委員協議会等への広報と周知に努めたが、目標達成には至らなかった。引き続きPRは行うが、他サービスの実施について検討する。	C	C	「障害者サービスの充実」では、対面音訳サービスの利用件数が3年間0件と続いているのは残念なことです。宅配サービスについては、利用者の都合により件数が変動することはやむを得ませんが、件数はマイナス1件であり、今後もPRに努め、事業を継続することが必要です。  【意見】対面音訳サービスについては、他機関と連携しつつ、市民から要望があれば、図書館が窓口になれる体制づくりなど抜本的な対策が必要と考えます。
		3 来館が困難な人へのサービスの充実	継続	・宅配サービスを継続して実施する。 [指標] 宅配サービスの実施件数 [目標値] 前年度比5%増(84件) [参考] 平成28年度 80件	数値	[宅配サービスの実施件数] 79件 【目標達成率】94.0% 〈図書館コメント〉 対象者は高齢者も多く、利用者都合(入院・体調不良等)により訪問のない月もあったため、回数が減少した。	B		

# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成29年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
<b>【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館</b>									
<b>5 市民と市民をつなぐ活動を積極的に行います</b>									
		1 市民文化活動の拠点	継続	・図書館の行事のお知らせや新刊案内等の広報活動を市内公共施設に協力依頼し、定期的に行う。 [指標]『むさしのだいだより』の発行回数 [目標値]年3回 [参考]平成28年度 2回	数値	[[『むさしのだいだより』の発行回数] 3回 【目標達成率】100% 〈図書館コメント〉 目標発行回数を達成することができた。発行頻度について、今後も課題としていきたい。	A	A	「市民文化活動の拠点」では、『むさしのだいだより』を3回発行し目標を達成することができました。 「読書会や作者との交流会等の開催」では、うちどくフェスティバルで、2回の講演会を実施し、目標を達成しました。また、孫への読み聞かせをテーマに祖父母を対象にしたおはなし会を開催することも良いと考えます。
		2 読書会や作者との交流会などの開催	新規	・家読(うちどく)の講演会を開催する。	記述	うちどくフェスティバルを開催し、期間中2回の講演会を実施した。  [開催実績] 【めざせ、読みメン！～お父さんと一緒におはなし会～】 来場者数:32名 【親子でたのしむ落語】 来場者数:35名	A	A	【意見】ここでは、市民文化活動へつながる講演会や講座の他にも歴史・文学散歩等の事業を実施し、図書館が「文化的にぎわい」をつくる拠点となることを望みます。また、読書会には、本を通して市民と市民がつながる共読の役割があると考えます。
<b>6 西多摩の市町村との連携を継続します</b>									
		1 西多摩の図書館との広域利用や昭島市との相互利用の継続	継続	・西多摩との広域利用、昭島市との相互利用の促進を図る。 [指標]西多摩広域利用と昭島市相互利用の貸出点数 [目標値]前年度比3%増(134,390点) [参考]平成28年度 西多摩 96,398点 昭島市 34,078点 合計 130,476点 (平成28年度 福生市民の利用点数 西多摩 23,910点 昭島市 3,098点 合計 27,008点)	数値	[西多摩広域利用と昭島市相互利用の貸出点数] 西多摩 93,189点 昭島市 33,105点 合計 126,294点 (平成29年度 福生市民の利用点数 西多摩 23,599点 昭島市 3,896点 合計 27,495点) 【目標達成率】94.0% 〈図書館コメント〉 西多摩との広域利用、昭島市との相互利用ともに、目標を達成することができなかった。昭島市民の利用減少については、平成28年度は昭島市民図書館の長期休館があったことから利用が多く、平成29年度の減少につながったのではないかと考えている。今後も広報等により制度の周知に努めたい。	B	B	昭島市の事情の他、西多摩地域の相互利用では、特別の要因がなく、利用が減少していますので、対策が必要と考えます。  【意見】それぞれの図書館での事業の情報交換を含めて、定期的な情報共有の場を設け、利用増等の意見交換をする必要があると考えます。



# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成29年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
<b>【基本目標2】市民が利用しやすく快適な空間のある図書館</b>									
<b>7 どこに住んでいても図書館サービスを受けられる体制を目指します</b>									
		1 図書館から離れた地域への対策や利便性を考えた図書館の配置	新規	・既存の施設との協力体制について、近隣市の状況を調査する。	記述	各市で図書館と連携している施設について、調査を行った。福生市で可能なサービスは何か、今後も検討を続ける。	B		<p>「図書館から離れた地域への対策や利便性を考えた図書館の配置」では、近隣市の状況を調査することができましたが、サービスの具体化は今後の検討となりました。</p> <p>「駅などへのブックポストの設置」では、運用段階に入っていますので、引き続きサービスを継続してください。</p> <p>【意見】調査結果を参考に、市内の体育館、児童館、福祉センター、子ども応援館などの公共施設との協力体制を築くことを求めます。</p>
		2 駅などへのブックポストの設置	継続	・駅返却ポストの運用を継続する。	記述	利用について窓口やホームページで積極的なPRを行い、継続して運用した。 [駅回収冊数] 回収日数 307日 拝島駅 10,652冊 福生駅 17,083冊 合計 27,735冊(全返却点数の 4.7%)	A		
		3 福祉バスの停留所を中央図書館付近に設置	継続	時期未定(コース見直し時に要望する。)			-		

# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 - : 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成29年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
<b>【基本目標2】市民が利用しやすく快適な空間のある図書館</b>									
<b>8 より利用しやすく快適な図書館を目指します</b>									
		1 読書ができる空間の工夫	継続	現在の状態を継続する。				-	<p>武蔵野台図書館でのキャレルデスク設置の要望については、利用者アンケートを実施することができました。図書館内外の利用者向け案内・掲示の整備については、書架図を作成、配布することができました。中央図書館エントランスに利用者用テーブルを増設することができました。開館時間の延長については、時間延長検討部会を設置し、検討を開始したに留まりました。</p> <p>【意見】図書館内外の案内・掲示の整備については、利用者の声を直接聞く等して、案内・掲示の整備をさらに進めることを求めます。また、開館時間延長の課題については、早い時期に結論を出すことを求めます。</p>
		2 「読書・学習コーナー」の設置	新規	・武蔵野台図書館でのキャレルデスク(個人用学習机)設置の要望について利用者へアンケートを実施する。	記述	[キャレルデスク設置についてのアンケートの実施] 2018年1月4日から同年3月30日までの期間、現在設置している利用者用長机にアンケートと回収箱を設置した。回収件数は14件と少なく、回答に結びつかないことが多かった。また結果は「要望する6件」「要望しない6件」であった。現状のままを希望する声も多いことから、キャレルデスクの設置については将来の検討事項とする。	A		
		3 分かりやすい案内や掲示の推進	継続	・図書館内外の利用者向け案内・掲示の整備を進める。	記述	一般書の書架図を修正し、掲示の数を増やした。また、利用者が手元で探せるよう配布用の書架図を作成した。	B		
		4 中央図書館のエントランスの工夫	継続	・中央図書館エントランスにある飲食・休憩用の利用者用テーブルを増設し、利便性の向上を図る。	記述	テーブルを1台購入、設置した。休憩等の利用があり、利便性の向上を図ることができた。また、1日2回の見回りを行い、利用状況の把握に努めた。	A		
		5 利用しやすい開館日時	継続	・図書館開館時間の時間延長を検討する。	記述	時間延長検討部会を立ち上げ、当市の夜間開館の状況や各市の状況をもとに検討を開始した。	B		

# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成29年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
<b>【基本目標2】市民が利用しやすく快適な空間のある図書館</b>									
<b>9 より安全で安心して利用できる図書館を目指します</b>									
		1 震災対策を推進	継続	・中央図書館の図書落下防止対策として、落下防止シートに比べて設置しやすい高書架の落下防止テープの設置について検討する。	記述	高書架の落下防止策として、改めてシート・テープ・バーについて検討を行った。それぞれに長所・短所があり、「設置のしやすさ」だけを判断材料に対応すべきではない、との結論に至った。そのため、シート・テープともに設置は行わなかった。	C		「震災対策を推進」では、中央図書館の高書架落下防止策を講ずることができませんでした。 「学習室、児童室、トイレなどの安全確保」では、安全確保が進んでいますが、不十分な点もあります。 「中央図書館施設の維持・管理」は、修繕等を進めていると考えられます。
		2 学習室、児童室、トイレなどの安全確保	継続	・館内全体の安全確保に努める。 [指 標] 館内における安全確保の掲示 館内を確認し、安全確保に関する掲示を行う。	記述	[館内における安全確保の掲示] 防犯カメラの設置について、掲示を行った。また館内・館外の見回りを1日2回以上行い、安全確保に努めている。	B C		【意見】震災対策については、全国の図書館の事例(震災地の図書館を含めて)を参考に、早急に対策を具体化することを求めます。 防犯カメラの設置はされていますが、学習室内やトイレ付近も設置が必要と考えますので、館内全体の防犯対策を進めてください。
		3 中央図書館施設の維持・管理	継続	・中央図書館施設の維持・管理に努める。 [指 標] 館内利用環境の維持管理 中央図書館の館内利用環境の維持管理のため、館内見回り等により把握した必要な修繕等について、適時実施する。 [参 考] 平成28年度 修繕件数 16件 修繕料 3,521,664円	記述	[館内利用環境の維持管理] 平成29年度 修繕件数 20件 修繕料 1,372,248円	A		

# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。  
C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成29年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
<b>【基本目標3】市民の課題解決に役立つ図書館</b>									
<b>10 暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ図書館を目指します</b>									
		1 相談業務(レファレンス・サービス)の充実	継続	・レファレンス相談を継続して実施する。 [指標] レファレンス相談件数 [目標値] 前年度比3%増(5,349件) [参考] 平成28年度 5,194件	数値	[レファレンス相談件数] 4,210件 【目標達成率】78.7% [参考]平成29年度クイックレファレンス統計(分館) わかぎり 863件 わかたけ 762件 武蔵野台 1,202件 <図書館コメント> 分館においても、件数の記録を開始した。中央図書館の件数が大きく下がり、目標を達成することができなかった。(事業目標2-8-3にあげている)一般書の書架図修正により、配架場所の確認が減ったことも一因として考えている。	C		相談業務の充実について、分館での記録を始めたことは評価できますが、中央図書館での大幅な落ち込みについては検証が必要です。 起業等の支援については、仕事関連の展示を行うことで目標を達成できました。 就職、転職、職業能力開発等の資料・情報の収集と提供については、更なる連携を望みます。  【意見】 中央図書館のレファレンス件数の減少は、情報機器を利用して自分で解決できてしまうこともありそうです。「チャットレファレンス」の導入など時代に即応したレファレンスのあり方の検討も必要です。また、利用者が尋ねやすい環境をつくり、きめ細かな相談業務を目指してください。さらに、メールや郵送での相談などを含め、簡単な質問から複雑な質問まで、レファレンス件数として把握する「基準」を明確にしておくといいでしょう。 ビジネスしごと支援では、ビジネスコンサルタントなどの専門家による「相談会」を実施して、更なる連携を図っていくといいでしょう。
		2 市民生活で必要とする資料・情報の収集と提供	継続	■基本目標1-1-1で回答(p1)				B	
		3 起業等の支援	継続	・中央図書館ビジネスしごと支援コーナーの資料貸出冊数を増加させる。 [指標] 資料貸出冊数 [目標値] 前年度比3%増(8,283冊) [参考] 平成28年度 8,042冊 所蔵冊数 5,457冊	数値	[資料貸出冊数] 8,499冊 【目標達成率】102.6% <図書館コメント> 仕事関連の展示を行った。今後もPRを行い、利用増加に努める。 (所蔵冊数 5,300冊)	A		
		4 就職、転職、職業能力開発等の資料・情報の収集と提供	新規	・市内業者への広報活動を行い、連携を図る。	記述	福生市商工会会員の方へ、シティセールス推進課を通じてビジネスしごと支援コーナー案内チラシを送付した。	A		

# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成29年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
<b>【基本目標3】市民の課題解決に役立つ図書館</b>									
<b>11 情報通信技術を活用し、市民の課題解決に役立つ図書館を目指します</b>									
		1 情報通信技術を活用した図書館サービスの充実	継続	・新着お知らせメールによる案内登録件数を増加させる。 [指標] 案内登録件数 [目標値] 前年度比5%増(122件) [参考] 平成28年度 117件	数値	[案内登録件数] 136件 【目標達成率】111.5% 〈図書館コメント〉 平成28年度に比べて増加した。今後もPR等により、新着お知らせメールの利用増加に努める。	A		<p>情報通信機器技術を活用した図書館サービスの充実については、目標を達成しています。デジタル資料の充実では、「西多摩新聞」をデジタル化して、利用者の利便性が向上しました。商用データベースの活用については、新規配属職員への講習を実施し目標を達成しました。インターネット講座の開催については、講座を開催し目標を達成しましたが、1名の参加に留まったのは残念です。ホームページの充実は、目標が達成できていません。新規テーマを複数登録できるようにして、充実を図ってください。</p> <p>【意見】「新着お知らせメール」について、登録件数から見て利用者の認知度は低いように考えられますので、PRの工夫も必要です。商用データベースの講習会は、市民利用者向けを実施することを望みます。その時に行政や商工会の職員も参加できるように工夫も必要でしょう。インターネット講座は、参加者を増やすことはもちろんですが、利用にどうつなげていくかが大事です。ホームページについては、SNSを活用し、図書館と市民(あるいは市民同士)との相互交流が図れるような改善を望みます。(以下次ページ)</p>
		2 デジタル資料の充実	継続	・地域資料のデジタル化を実施する。 [指標] 実施件数 [目標値] 1件 [参考] 平成28年度 1件	数値	[実施件数] 1件 【目標達成率】100% 〈図書館コメント〉 平成28年度に引き続き西多摩新聞のデジタル化を実施することができた。今後もデジタル化を継続して行う。	A		
		3 商用データベースの活用	継続	・商用データベーススキルの向上を図る。 [指標] 商用データベースの新規配属職員向け講習会の実施 [目標値] 1回 [参考] 平成28年度 0回	数値	[商用データベースの新規配属職員向け講習会の実施] 1件 【目標達成率】100% 〈図書館コメント〉 提供しているオンラインデータベースのひとつである「日経テレコム」の講習会を実施した。	A	B	
		4 インターネット講座の開催	継続	・市民向けに、図書館お役立ち講座を開催する。 [指標] 講座の開催 [目標値] 1回 [参考] 平成28年度 1回	数値	[講座の開催] 1回 【目標達成率】100% 〈図書館コメント〉 目標値は達成したが、参加者は1名であった。より多くの方の参加につなげられるよう、開催時期や募集方法について検討する。	A		
		5 ホームページの充実	拡充	・ホームページのおすすめ資料ページの更新回数とテーマを増やし、内容を充実させる。 [指標] テーマ別おすすめ資料ページの更新回数とテーマの増加 [目標値] 新規登録件数 2件 更新数 8回 [参考] 平成28年度 新規登録件数 0件 更新数 7回	数値	[テーマ別おすすめ資料ページの更新回数とテーマの増加] 新規登録件数 1件 更新数 8回 【目標達成率】90.0% 〈図書館コメント〉 新規登録件数2件を達成することができなかった。	B		

# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成29年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
<b>【基本目標3】市民の課題解決に役立つ図書館</b>									
<b>11 情報通信技術を活用し、市民の課題解決に役立つ図書館を目指します</b>									
	6	パソコン利用環境の確保	拡充	・無線LANの利用場所の拡大について検討を行う。 [指標] 無線LANの利用場所の検討 [参考] 平成28年度現在 中央図書館レファレンス室(1箇所)	記述	[無線LANの利用場所の検討] 現在設置の無線LANについて使用可能箇所を検証したところ、レファレンス室内及びレファレンス室入口付近のみであり、他の場所では使用できないことが確認できた。現在パソコンの利用はレファレンス室に限っているが、様々な媒体(スマートフォン等)での利用も可能性として存在するため、引き続き検討を行う。	A	B	【意見】無線LANの受信範囲を1階フロア全体に広げるように早急の改善を望みます。

# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成29年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
<b>【基本目標4】家庭・地域・学校の教育力の向上を支え、読書の大切さを発信する図書館</b>									
<b>12 図書館は市内の各種機関と協働を進めることで、家庭・地域・学校の教育力の向上を支援します</b>									
		1 学校教育への支援を推進	新規	・児童、生徒への支援として、学習内容に沿った資料の展示を行う。 [指標] 中央図書館での学校の学習内容に沿った展示の実施 [目標値] 3回	数値	[中央図書館での学校の学習内容に沿った展示の実施] 3回 【目標達成率】 100% <図書館コメント> 市内小・中学校の学習内容や学校生活に沿った展示を行った。 [参考] ・給食 ・おみせやさん ・動物の赤ちゃん	A	A	学校教育への支援を推進については、中央図書館での展示を3回実施し目標を達成しました。 学校司書と連携し学校図書館の充実については、学校の教職員を含めた調査を実施したことは評価できます。 保育施設等への出前おはなし会について、引き続き実施してください。  【意見】学校教育への支援では、テーマの拡大を望みます。また、子どもたちの本離れ・読書離れへの支援という視点も大切です。
		2 学校司書と連携し学校図書館の充実	新規	・より効果的な支援の実施のため、学校司書及び学校図書館に支援の必要な内容や希望の調査を行う。	記述	学校司書に支援を希望する内容を調査した。また、学校司書を通して学校の教職員の希望も調査した。	A	A	「事業1」と「事業2」とは連携を密にして取り組むべき事業を考えます。この立場から、子どもたちの深い学びにつながるような具体的な方策を実施することを望みます。また、学校司書、教職員への調査結果を反映し事業を考えてください。 (以下次ページ)
		3 保育所、幼稚園、学童クラブ、児童館などの連携	継続	・保育施設等への出前おはなし会を継続して行う。 [指標] 保育所等訪問数 [目標値] 前年度比5%増(68回) [参考] 平成28年度 65回	数値	[保育所等訪問数] 68回 【目標達成率】 100% <図書館コメント> 保育所・幼稚園や保健センター、子ども応援館等を対象に出前おはなし会を実施し、目標を達成した。	A	A	

# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成29年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
<b>【基本目標4】家庭・地域・学校の教育力の向上を支え、読書の大切さを発信する図書館</b>									
<b>12 図書館は市内の各種機関と協働を進めることで、家庭・地域・学校の教育力の向上を支援します</b>									
		4 病院との連携	継続	・福生病院キッズルームの「みにみにとしょかん」を継続する。 [指標] 「みにみにとしょかん」への貸出冊数 [目標値] 400冊(年4回) [参考] 平成28年度 401冊(年4回)	数値	[「みにみにとしょかん」への貸出冊数] 404冊(年4回) 【目標達成率】101.0% 〈図書館コメント〉 本を知り、読むきっかけとなるよう、今後も貸出を継続し、定期的に図書の入替えを行う。	A		病院との連携では、「みにみにとしょかん」を継続することで目標を達成しています。公民館やその連携団体との連携については、展示回数が15回と目標を達成しています。高齢者施設との連携については、件数1件であり、目標に達していません。更なる改善が必要です。
		5 公民館やその利用団体との連携	継続	・公民館主催事業資料を展示する。 [指標] 展示回数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成28年度 14回	数値	[展示回数] 15回 【目標達成率】107.1% 〈図書館コメント〉 公民館との連携により、目標を達成することができた。	A	A	【意見】これらの活動は市民協働や地域等の教育力の向上支援として重要と考えますので、さらに充実を図ってください。公民館事業に関しては、連携の立場から公民館側のPRも促す働きかけも必要と考えます。
		6 高齢者施設との連携	新規	・高齢者施設入所者への宅配サービスを継続拡充する。 [指標] 高齢者施設入所者の宅配サービス登録者数 [目標値] 3件 [参考] 平成28年度 1件	数値	[高齢者施設入所者への宅配サービス登録件数] 1件 【目標達成率】33.3% 〈図書館コメント〉 高齢者施設において新規入所者への制度説明の機会を設けたが、希望者が現れなかった。	C		



# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成29年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
<b>【基本目標4】家庭・地域・学校の教育力の向上を支え、読書の大切さを発信する図書館</b>									
<b>13 図書館は市民との協働を進めることで、家庭・地域の教育力の向上を支援します</b>									
		1 おはなしボランティアとの協働を推進	新規	・初心者向けおはなしボランティア講座の実施。	記述	「おはなしボランティア講座 ～落語から学ぶ読み聞かせ～」と題し、初心者でも楽しみながら聞き取りやすい話し方や読み方を学ぶ講座を実施した。	A		おはなしボランティアとの協働を推進については、初心者向けのおはなしボランティア講座を実施しましたが、落語と読み聞かせとの関係などを吟味することが必要と考えます。 おはなしボランティアグループのネットワーク化も引き続き取り組んでください。  【意見】初心者向けのおはなし(読み聞かせ)講座でしたら、基本的な技能を伝えるなど講座の内容を検討することを望みます。
		2 おはなしボランティアグループのネットワーク化を推進	新規	・読み聞かせ用資料貸出時に、図書館ボランティアのPR及び協力のお願いのチラシを作成し配布する。	記述	読み聞かせ用資料貸出時に、図書館でボランティアをされたことがない方に向けて、図書館ボランティアのPR及び協力のお願いのチラシを作成・配布した。	A		
		3 視力障害がある人を対象にしたボランティアとの協働を推進	継続	■基本目標1-4-2で回答(p7)					
		4 宅配サービスを推進	継続	■基本目標1-4-3で回答(p7)					

# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。  
C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 - : 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成29年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
<b>【基本目標4】家庭・地域・学校の教育力の向上を支え、読書の大切さを発信する図書館</b>									
<b>14 家庭・地域・学校に読書の大切さを発信します</b>									
		1 おはなしボランティアグループと協働で読書の大切さを発信	新規	・市内での使用に限定されている読み聞かせ資料の貸出を、市外での使用も可能とするように拡大する。	記述	これまで市内での活動に限定していた読み聞かせ資料の貸出を以下の形に拡大した。 ・福生市民の方→市外での活動でも貸出可 ・福生市民以外の方→市内での活動のみ貸出可	A	A	おはなしボランティアグループと協働で読書の大切さを発信については、引き続き事業の向上に努めてください。読書に関するグループや事業所などとの連携では、市役所内「みにみにとしょかん」の目標値が達成されました。学校への広報活動の推進でも、『中高生向け推薦図書リストZANMAI』を市内中学校及び福生高校・多摩工業高校在籍生徒全員に配布し、目標を達成しています。図書館のホームページの更新では、分かりやすい画面構成と充実した内容を検討してください。  【意見】「事業2」については、「みにみにとしょかん」事業なので、基本目標4-12-4と同じ内容と考えられますので、統合するなどの検討を望みます。また、児童館、子ども応援館など団体貸出を利用して連携することも良いと考えます。
		2 読書に関するグループや事業所などとの連携	継続	・市役所1階ロビーのキッズコーナー横の本棚「みにみにとしょかん」を継続する。 [指標] 「みにみにとしょかん」への貸出冊数 [目標値] 400冊(年4回) [参考] 平成28年度 401冊(年4回)	数値	[[「みにみにとしょかん」への貸出冊数] 405冊(年4回) 【目標達成率】 101.2% <図書館コメント> 本を知り、読むきっかけとなるよう、今後も貸出を継続し、定期的に図書の入替えを行う。	A		
		3 学校への広報活動の推進	継続	・学校への広報活動の推進を図る。 [指標] 図書館事業の広報活動の実施	記述	[図書館事業の広報活動の実施] うちどくフェスティバル、原画展、クリスマスコンサート、夏のイベントのお知らせ、すいせん図書等の案内を市内小学校在籍児童全員に配布した。また、『中高生向け推薦図書リストZANMAI』を市内中学校及び福生高校・多摩工業高校在籍生徒全員に配布した。	A		
		4 図書館の利用を広げるための広報活動の推進	新規	・図書館外への広報活動の推進を図る。 [指標] 各館の機能分担の役割についてホームページに記載を行う。	記述	[各館の機能分担の役割についてホームページに記載を行う。] 平成30年度はシステムの更新を行う年度となっており、ホームページも更新が予定されているため、来年度での対応とする。	C		

# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A: 計画通り実施し、一定の成果があった。 B: 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C: 不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -: 次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成29年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
<b>【基本目標5】地域資料の充実を図り、地域文化の継承と創造に寄与する図書館</b>									
<b>15 デジタル資料を含めた地域資料の収集と提供を進めます</b>									
		1 福生市に関する資料の収集の徹底	継続	■基本目標1-1-1で回答(p3)					地域資料の調査・研究の相談、支援の充実については、福生に関するテーマリストをホームページに追加し、目標を達成しました。引き続き新しいテーマの追加、資料の充実に努めてください。
		2 地域に関する資料のデジタル化の推進	継続	■基本目標3-11-2で回答(p13)				A	
		3 地域資料の調査・研究の相談、支援の充実	継続	・ホームページの地域資料コーナーの充実を図り、福生に関するテーマリストを作成・追加し、提供する。 [指標] 福生に関するテーマリスト追加件数 [目標値] 4件 [参考] 平成28年度 3件	数値	[福生に関するテーマリスト追加件数] 4件 「なつかしい教科書」 「多摩の鉄道と駅」 「多摩の鳥」 「写真でたどる多摩の歴史」 【目標達成率】100% 〈図書館コメント〉 平成28年度の目標値に達することができた。平成30年度も目標である4件のテーマを追加していくように努める。		A	

# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本 目標	施策	事業	区分	平成29年度事業目標	指標	取組結果	自己 評価	第三者 評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
<b>【基本目標5】地域資料の充実を図り、地域文化の継承と創造に寄与する図書館</b>									
<b>16 行政機関・議会への資料・情報提供を進めます</b>									
		1 行政機関サービスの充実	継続	・庁内貸出サービスを継続する。 [指標] 庁内貸出点数 [目標値] 前年度比5%増(3,045点) [参考] 平成28年度 2,900点	数値	[庁内貸出点数] 2,917点 【目標達成率】95.8% <図書館コメント> 平成28年度に比べ貸出点数は増加したが、目標値は達成することができなかった。今後もPR等により、利用向上に努める。	A	A	行政機関へのサービスの充実では、多少昨年度を下回っていますが、貸出点数が2,917点であることから、概ね目標を達成できたと考えます。 議会図書室との連携・協力については、目標値は達成していますが、レファレンス件数が27件では実数として少ないと考えますので、レファレンスの充実を図り、実数の向上を求めます。
		2 議会図書室との連携・協力	継続	・行政レファレンスサービスを継続して行う。 [指標] 行政レファレンスの件数 [目標値] 前年度比5%増(27件) [参考] 平成28年度 26件	数値	[行政レファレンスの件数] 27件 【目標達成率】100% <図書館コメント> 目標値を達成することができた。	A		

# 福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準

A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。

C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成29年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
<b>【基本目標6】長期的な視点にたった図書館運営を行い成長する図書館</b>									
		1 「福生市人材育成基本方針」に基づく専門的職員の育成	新規	・新規配置職員の司書資格取得の方法について検討を行う。	記述	新規配置職員には司書資格の取得方法について、また福生市では職員の自己啓発活動の一環として、資格・免許等の取得に要した経費の一部を助成する制度があり、司書資格もその対象になっていることの情報提供を行った。	B		<p>新規配属職員が司書資格の取得を望む場合には一部助成制度があるため、「福生市人材育成基本方針」に基づき、司書資格取得講習へ行きやすい職場環境が必要と考えます。</p> <p>職員の内外の研修への参加も、研修を受けやすい職場として、職員への情報提供を行って参加状況の維持・向上に努めてください。</p> <p>図書館運営の自己点検・評価の実施、図書館協議会の第三者評価、および市民への公表については、図書館基本計画に基づき継続してください。</p> <p>【意見】図書館職員の「人づくり」という視点から、民間サービス業など、異業種への派遣研修を実施することも有効な方法と考えます。また、先進的な活動をしている他の図書館の見学を奨励することも、職員の資質の向上につながると考えます。</p>
		2 職員の内外の研修への参加	継続	・図書館関係の研修に参加する。 [指標] 研修参加件数・人数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成28年度 研修参加件数 27件 参加人数 延べ36人	数値	[研修参加件数・人数] 研修参加件数 20件 参加人数 延べ44人 【目標達成率】参加件数 74.1% 参加人数 122.2% 〈図書館コメント〉 研修については、その都度情報提供を行って参加を促した。	A		
		3 図書館運営の自己点検・評価の実施	継続	・平成28年度図書館運営の自己点検・評価を実施する。	記述	「福生市立図書館基本計画」の基本計画に沿って、自己点検・評価を実施した。	A	A	
		4 図書館協議会等による第三者評価の実施	継続	・平成28年度図書館運営の自己点検結果を基に、福生市図書館協議会により第三者評価を実施する。	記述	図書館協議会による第三者評価を実施した。	A		
		5 市民への公表	継続	・平成28年度の自己点検評価及び第三者評価表を作成し、市民に公表する。	記述	「平成28年度福生市立図書館基本計画点検評価表」を作成し、ホームページ等で市民に公表した。	A		

## 成果指標

	指 標	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目 標	目標年度	備 考
1	市民一人当たりの貸出冊数（本・雑誌）	10.8冊	10.8冊	10.0冊	10.5冊	10.0冊	9.6冊		12冊	平成30年度	
2	市民一人当たりの貸出点数（視聴覚）	0.7点	0.74点	0.69点	0.68点	0.63点	0.60点		1.1点	平成30年度	
3	登録者率	23.1%	23.6%	20.4%	21.9%	21.8%	21.80%		30%	平成30年度	
4	大活字本の所蔵冊数	1,370冊	1,395冊	1,395冊	1,557冊	1,669冊	1,757冊		2,000冊	平成30年度	
5	高齢者ボランティアの登録人数 （児童関連を除く）	2人	2人	3人	3人	3人	3人		5人	平成30年度	
6	CDの所蔵点数	8,754枚	8,843枚	8,924枚	9,077枚	9,281枚	9,410枚		11,000枚	平成30年度	
7	DVDの所蔵点数	663枚	748枚	840枚	920枚	1,033枚	1,088枚		1,500枚	平成30年度	
8	ビジネス・しごと支援コーナーの貸出冊数	13,085冊	12,533冊	11,033冊	10,880冊	11,201冊	11,199冊		20,000冊	平成30年度	※武蔵野台図書館分を含む
9	ホームページのアクセス回数	103,000件	155,062件	195,789件	212,520件	208,083件	200,608件		150,000件	平成30年度	※従来は図書館トップページのみの計測だったが、26年度からは図書館全コンテンツのページを合計
10	学校への調べ学習支援冊数	276冊	236冊	736冊	988冊	402冊	287冊		600冊	平成30年度	
11	福生市に関する図書所蔵数	10,141冊	10,425冊	10,984冊	11,783冊	12,407冊	13,548冊		15,000冊	平成30年度	
12	自己点検・評価	未実施	未実施	未実施	実施	実施	実施		実 施	平成27年度	
13	第三者評価	未実施	未実施	未実施	実施	実施	実施		実 施	平成27年度	
14	市民への公表	未実施	未実施	未実施	実施	実施	実施		実 施	平成27年度	